

## 韓国

### マクロ経済動向

韓国銀行（中央銀行）が2011年12月6日に公表した2011年第3四半期のGDP（改定値）によると、実質成長率は季節調整値で前期比0.8%（年率換算3.2%）で速報値を0.1ポイント上回った。需要項目別に見ると、内需では最終消費支出は前期比0.6%で速報値を0.1ポイント、固定資本形成は同0.9%で速報値を0.4ポイントそれぞれ下回った。一方、外需の財・サービスの輸出は前期比2.2%で、速報値を0.2ポイント上回っている。

鉱工業生産指数（季節調整値）の伸び率は10月が前月比▲0.6%、11月が同▲0.4%となり、7～8月以来の二カ月連続のマイナスとなった。これは主に欧州危機の影響で輸出が伸び悩み、IT関連の生産が落ちたためと見られる。失業率（季節調整値）は10月に3.1%を記録してから、11月、12月と横ばいで推移した。

貿易収支（IMF方式）は、10月に35.5億ドル、11月に44.9億ドルのそれぞれの黒字であった。

対ドル為替レートは、10月の1ドル=1,150ウォンから、11月は同1,134ウォン、12月は同1,148ウォンと、ウォン安水準で安定して推移している。

消費者物価上昇率は10月の前年同月比3.6%から、11月は同4.2%、12月は同4.2%と推移している。

一方、生産者物価上昇率は10月の前年同月比5.6%から、11月は同5.3%、12月は同4.3%と低下の傾向を示している。

### 今後の展望

韓国銀行は2011年12月9日に2012年の経済予測を発表し

た。それによると2012年の実質成長率は2011年の3.8%（見込）とほぼ同じ3.7%に止まるとしている。前半の成長率は前年同期比3.4%、後半は同3.8%で前半にやや停滞を見せると予測している。また2013年については4.2%と回復を見せると予測している。

需要項目別に見ると、内需では民間消費が2011年見込みの2.5%から3.2%に回復する。設備投資は同4.5%から4.2%にやや低下するが、建設投資は同▲5.3%から2.8%とプラスに転ずると予測している。外需については財の輸出が同11.6%から5.0%に低下するとしている。

その他の経済指標では、失業率は2011年見込みの3.5%からほぼ横ばいの3.4%と予測している。インフレ率は消費者物価上昇率で2011年見込みの4.0%から3.3%に低下するとしている。しかし食品とエネルギーを除いたコアインフレ率では、2011年見込みの2.6%から2.7%とほぼ横ばいと見込んでいる。

このように今回の予測では、厳しい国際経済状況に関わらず、韓国経済はある程度の成長を確保すると見込んでいる。しかし予測の前提条件としては、ユーロ圏はほぼゼロ成長に落ち込むものの、日米の成長率は2011年を上回り、中国も8.6%の成長を実現するというシナリオが想定されている。また世界貿易額の伸び率については、2011年見込みの6.6%からは低下するものの、5.4%と想定している。こうした条件は現在のユーロ圏の危機について、一応の安定化を見込んだものであり、その前提が崩れた場合、外需依存度の極端に高い韓国経済に大きな下振れのリスクがあることは言うまでもない。

（ERINA調査研究部主任研究員 中島朋義）

	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	10年10-12月	11年1-3月	4-6月	7-9月	11年10月	11月	12月
実質国内総生産 (%)	5.2	5.1	2.3	0.3	6.2	0.5	1.3	0.9	0.8	—	—	—
最終消費支出 (%)	5.1	5.1	2.0	1.2	3.9	0.1	0.7	0.9	0.6	—	—	—
固定資本形成 (%)	3.4	4.2	▲1.9	▲1.0	7.0	▲0.9	▲4.3	2.3	0.9	—	—	—
鉱工業生産指数 (%)	8.4	6.9	3.4	▲0.1	16.2	▲0.5	4.9	0.0	▲0.1	▲0.6	▲0.4	—
失業率 (%)	3.5	3.2	3.2	3.6	3.7	3.4	3.9	3.4	3.1	3.1	3.1	3.1
貿易収支 (百万USドル)	31,433	37,129	5,170	37,866	41,904	12,336	5,843	7,661	7,471	3,547	4,487	—
輸出 (百万USドル)	325,465	371,489	422,007	363,534	466,384	128,746	130,986	142,702	141,236	46,701	46,494	—
輸入 (百万USドル)	309,383	356,846	435,275	323,085	425,212	115,727	123,820	134,348	134,938	42,734	42,958	—
為替レート (ウォン/USドル)	955	929	1,103	1,276	1,156	1,132	1,120	1,083	1,085	1,150	1,134	1,148
生産者物価 (%)	0.9	1.4	8.6	▲0.2	4.2	5.0	6.7	6.4	6.2	5.6	5.1	4.3
消費者物価 (%)	2.2	2.5	4.7	2.8	2.9	3.6	4.5	4.2	4.8	3.6	4.2	4.2
株価指数 (1980.1.4 : 100)	1,434	1,897	1,124	1,683	2,051	2,051	2,107	2,101	1,770	1,909	1,848	1,826

(注) 国内総生産、最終消費支出、固定資本形成、鉱工業生産指数は前期比伸び率、生産者物価、消費者物価は前年同期比伸び率、株価指数は期末値

国内総生産、最終消費支出、固定資本形成、鉱工業生産指数、失業率は季節調整値

国内総生産、最終消費支出、固定資本形成、生産者物価、消費者物価は2005年基準

貿易収支はIMF方式、輸出入は通関ベース

(出所) 韓国銀行、統計庁他